

更新用証明書インポートツール操作マニュアル

Version 1.13
2024年3月10日

セコムトラストシステムズ株式会社

改版履歴		
版数	日付	内容
V. 1. 00	2010/12/27	初版発行
V. 1. 01	2011/10/31	動作条件（オペレーティングシステム、ブラウザ）追加 確認ページの手順追加
V. 1. 10	2013/04/04	動作条件のオペレーティングシステムに Windows 8 を追加 また、動作条件のブラウザに Internet Explorer 10 を追加 確認ページの手順修正
V. 1. 11	2019/04/11	文言と画像の修正
V. 1. 12	2022/07/10	証明書インポート時の挙動変更を追加
V. 1. 13	2024/03/10	Windows 8.1、Internet Explorer 関連文言を削除 グローバル IP アドレスの変更 文書体裁の修正

目次

1. はじめに	1
2. 証明書のインポート手順	2
2.1. パスワードの準備	2
2.2. アクセスの確認	3
2.3. 証明書インポートツールのダウンロード	3
2.4. 証明書インポートツールの起動	4
2.5. インポートされた証明書の確認(証明書確認ページ)	7
2.6. インポートされた証明書の確認(インターネットオプション)	9
2.7. 古い証明書の削除	13
3. トラブルシューティング	18
3.1. 『115: データの問合せに失敗しました。』	18
3.2. 『125: データの問合せに失敗しました。』	19
3.3. 『550: 証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』	21
3.4. 『550: 証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしくは既に証明書を取得済みです。』	22
3.5. 『205: 証明書をインポートできませんでした。』	23
3.6. 『確認ページ』が表示されない	24

1. はじめに

更新用証明書インポートツール操作マニュアル(以下、本マニュアル)は、セコムトラストシステムズ株式会社(以下、セコムトラストシステムズ)が提供する更新用証明書インポートツール(certrenew.exe)の利用方法を記載したマニュアルです。

証明書インポートツールは、Web ブラウザーを使用しないでクライアント証明書のインポートを自動的に行うためのツールです。

証明書インポートツールをご利用のお客様は、本マニュアルの手順を行って証明書を取得してください。

[動作条件]

▼ オペレーティングシステム

日本語 Microsoft® Windows® 11

日本語 Microsoft® Windows® 10

※Windows To Go 機能につきましては、動作保証対象外です。

▼ 必須ソフトウェア

証明書インポートツール(certrenew.exe)

※本マニュアルの操作手順は、Microsoft Windows10 を使用して作成しております。
ご利用の OS によっては、本マニュアルの画面と多少異なる場合がございます。

2. 証明書のインポート手順

本章では、証明書インポートツールをどのように入手し、どのように使用して証明書をインポートするか手順をご説明します。



更新操作は更新対象の証明書がインポートされている端末で行ってください。

手順の概略は次のとおりです。

1. 契約者番号・利用者 ID・パスワードの準備
2. 証明書インポートツールのダウンロード
3. 証明書インポートツールの起動
4. インポートされた証明書の確認

2.1. パスワードの準備

証明書を取得するためには、『もみじ法人インターネットバンキングサービス』でご利用の以下の情報を事前に準備する必要があります。

- ・パスワード(インターネットバンキングのログインパスワード)

これらの情報に関するご不明点につきましては、サービス提供元へお問合せください。

2.2. アクセスの確認

証明書のインポートを始める前に、アクセスの確認を行ってください。

証明書のインポート操作を行うパソコンから、以下3つの URL にアクセスできることを確認してください。

<https://webra2.secomtrust.net/>

<http://repo1.secomtrust.net/>

<http://repository.secomtrust.net/>

【アクセスができた場合】

本マニュアル「2.3. 証明書インポートツールのダウンロード」へお進みください。

【アクセスができなかった場合】

・ウィルス対策ソフトなどの影響により、アクセスができない可能性があります。

⇒ソフトを一時停止し、上記3つの URL に再度アクセスをお試しください。

・ネットワークの設定により、アクセスが制限されている可能性があります。

⇒アクセスが正常に行えるように、ネットワークの設定を変更してください。

2.3. 証明書インポートツールのダウンロード

以下の URL に Web ブラウザーでアクセスし、証明書インポートツールをダウンロードしてください。

◆ 証明書インポートツール ダウンロードサイト

<https://webra2.secomtrust.net/scira/doc/mmb/renew.html>

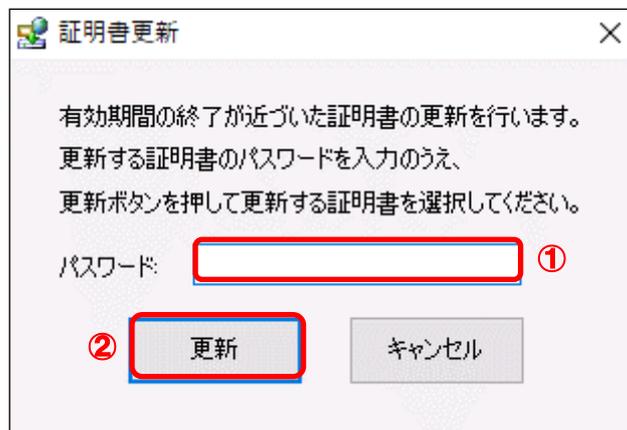
証明書インポートツールは ZIP 圧縮された状態でダウンロードされるので、ZIP を解凍した上で、証明書インポートツールを実行してください。

2.4. 証明書インポートツールの起動

(1) 証明書インポートツールを起動すると、以下の画面が表示されます。

『もみじ法人インターネットバンキングサービス』でご利用のログインパスワードを

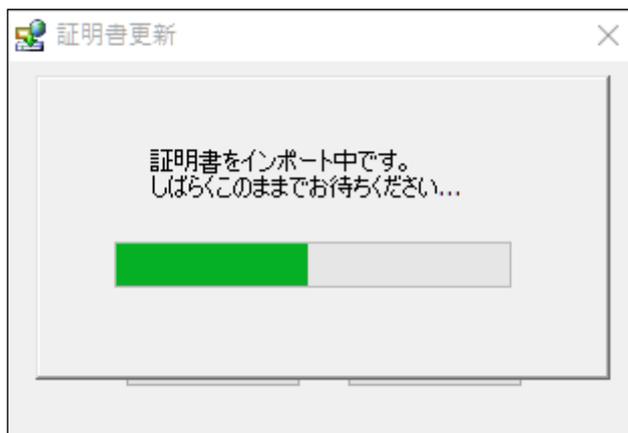
① **パスワード**に入力し、② **更新**ボタンをクリックしてください。



(2) 証明書の選択画面より、① **更新対象の証明書**を選択し、② **OK**ボタンをクリックしてください。



(3) 処理中を表す画面が表示されます。しばらくそのままお待ちください。

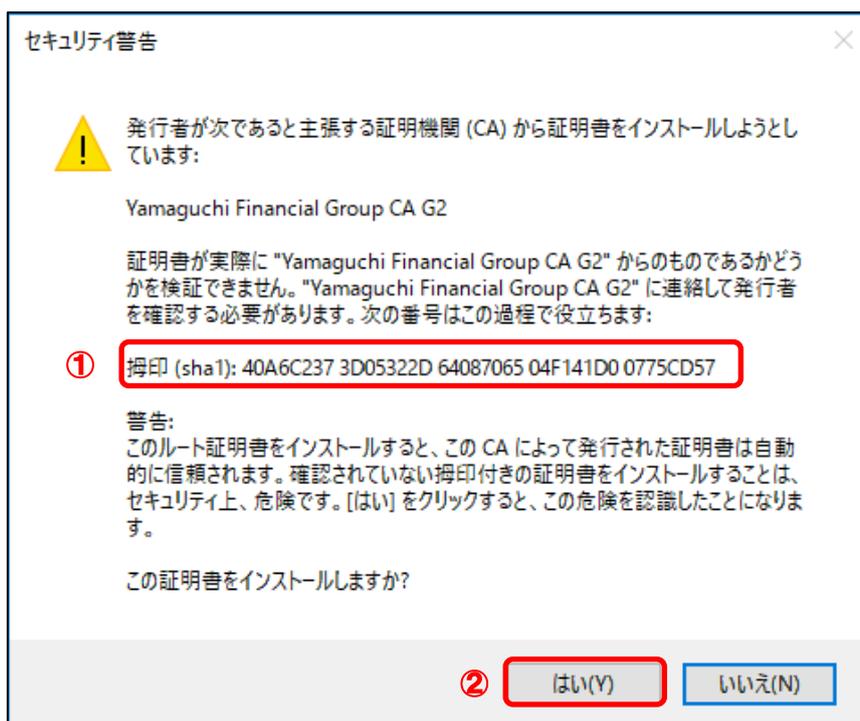


(4) 証明機関 (CA) から証明書インストールを促されます。

① 拇印 (sha1) に記載された情報が以下の英数字の羅列であることを確認してください。

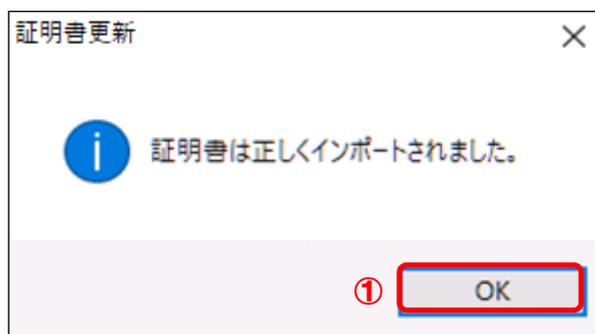
拇印 (sha1): 40A6C237 3D05322D 64087065 04F141D0 0775CD57

確認後、② はい (Y) ボタンをクリックしてください。



※すでに証明機関 (CA) がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

(5) ①OK ボタンをクリックしてください。

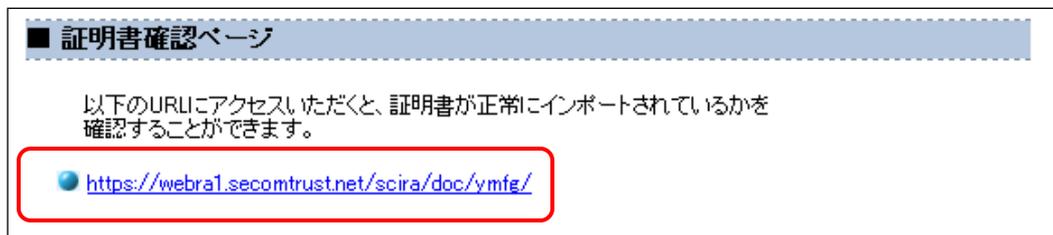


以上で証明書のインポートは完了しました。

 ここまでの手順でエラー画面が表示された場合は、本マニュアル「3. トラブルシューティング」をご参照いただき、発生したエラーごとの対処を行ってください。

2.5. インポートされた証明書の確認(証明書確認ページ)

- (1) 証明書インポートツール ダウンロードサイトから、『証明書確認ページ』のリンクをクリックしてください。

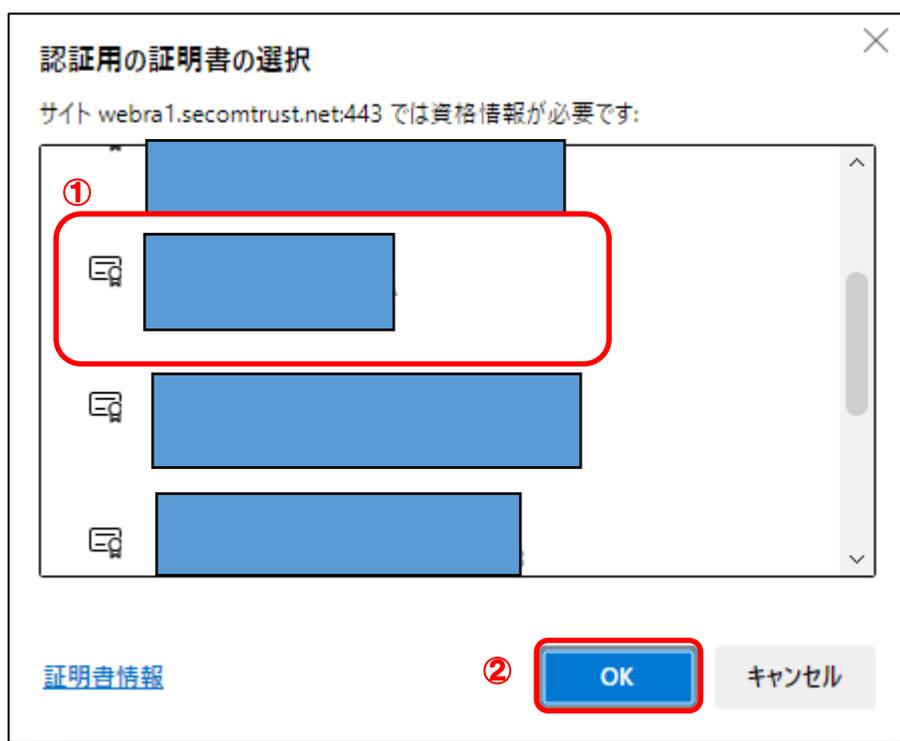


◆ 証明書確認ページ

<https://webra1.secomtrust.net/scira/doc/ymfg/>

- (2) 証明書の要求が行われますので①ダウンロードした証明書を選択し、②OKボタンをクリックしてください。

※お客様の環境により、以下のダイアログが表示されず、以下の手続き(3)の画面が表示されることがありますが、確認作業には影響はございません。



(3) 証明書が問題なく取得されていれば、以下の画面が表示されます。



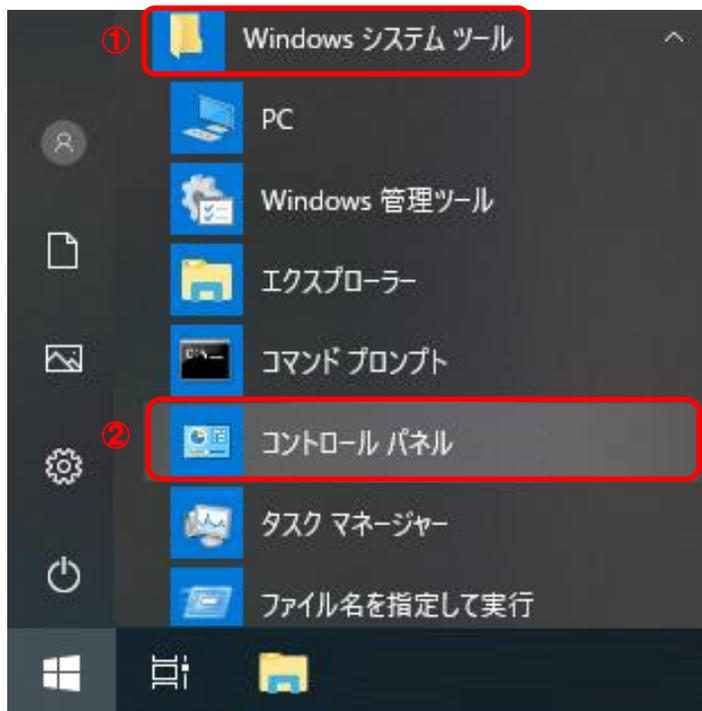
以上で、証明書発行は完了しました。

証明書確認ページが表示できていれば、証明書をご利用いただける状態になっています。

以降 2.6. の操作は、インターネットオプションから、取得した証明書を確認するための手順です。取得した証明書の状態を確認したいときは、以降の操作を行ってください。

2.6. インポートされた証明書の確認(インターネットオプション)

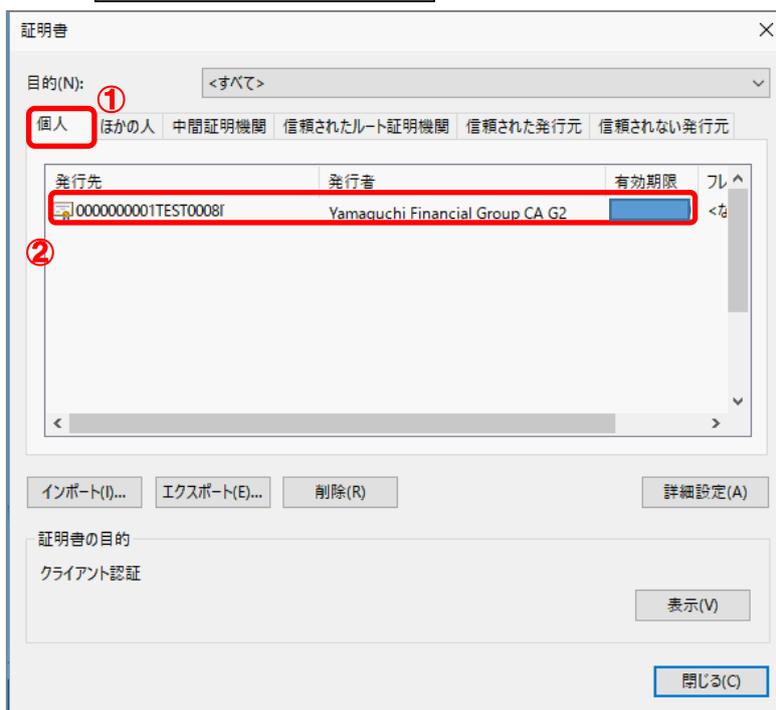
- (1) ウィンドウズのメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを選択してください。



- (2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、①小さいアイコンもしくは、大きいアイコンを選択してください。



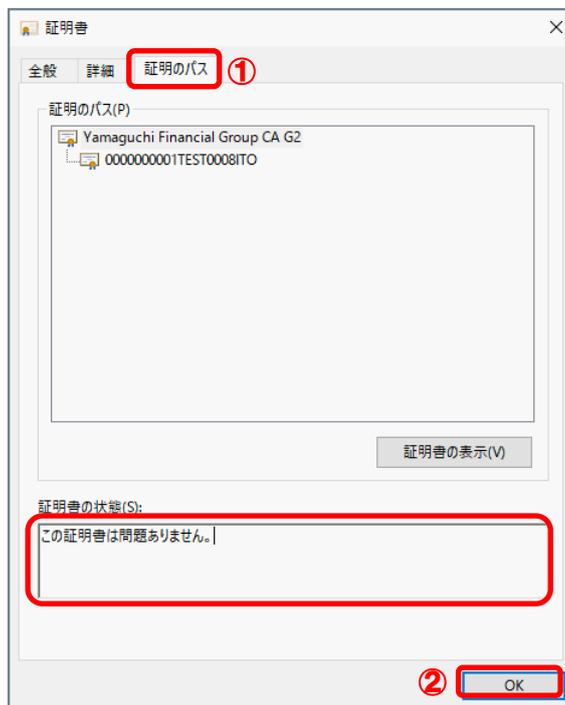
- (5) ① **個人** タブより、② **インストールされた証明書** をダブルクリックしてください。



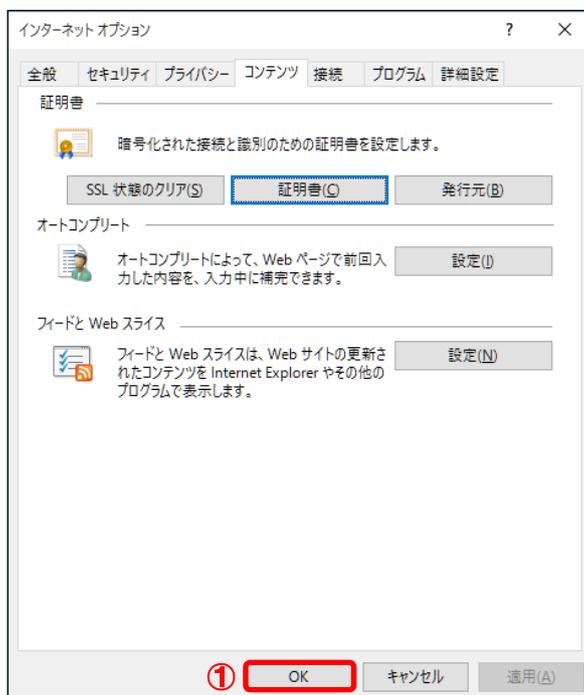
- (6) 選択した証明書の内容が表示されますので、赤枠で囲まれた発行先および発行者に間違いのないことを確認してください。



- (7) ① **証明書のパス** タブより、赤枠で囲まれている **証明書の状態 (S)** が『この証明書は問題ありません。』となっていることを確認し、② **OK** ボタンをクリックしてください。



- (8) ① **OK** ボタンをクリックしてください。



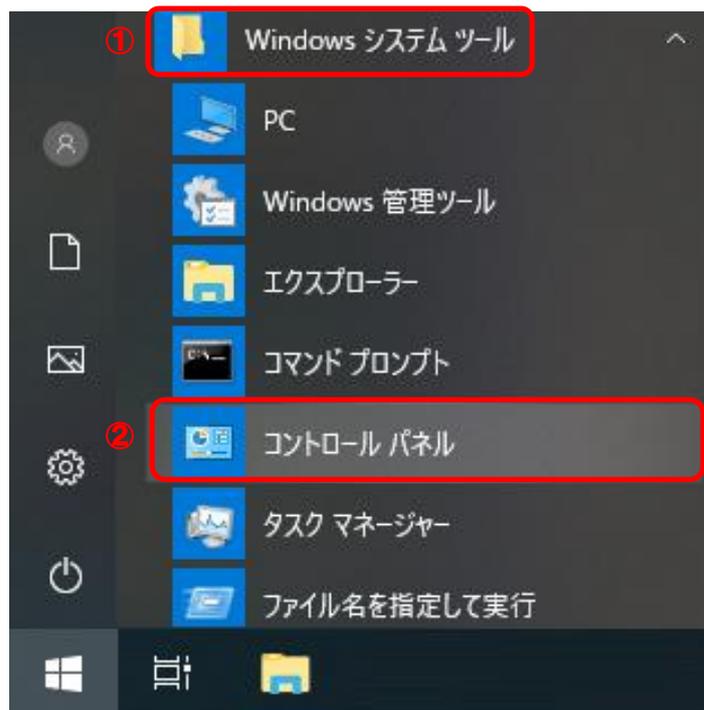
以上で証明書が正常にインポートされていることを確認できました。

2.7. 古い証明書の削除

新旧両方の証明書をインストールしたままの状態だと、証明書ログイン時にそれらの証明書が証明書選択画面に表示されてしまいます。

本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」で正しくインストールされていることを確認の後に、古い証明書を削除してください。

- (1) ウィンドウズのメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを選択してください。



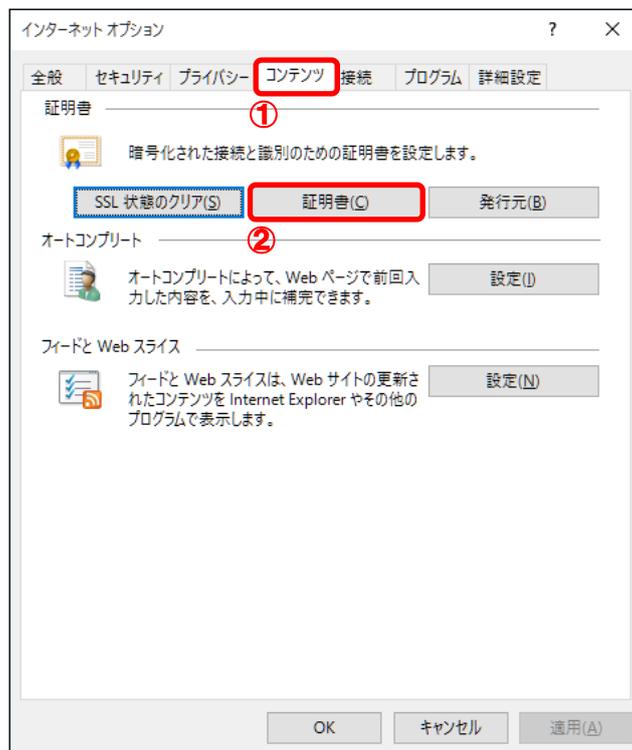
- (2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、① **小さいアイコンもしくは、大きいアイコン** を選択してください。



- (3) ① **インターネットオプション** を選択してください。

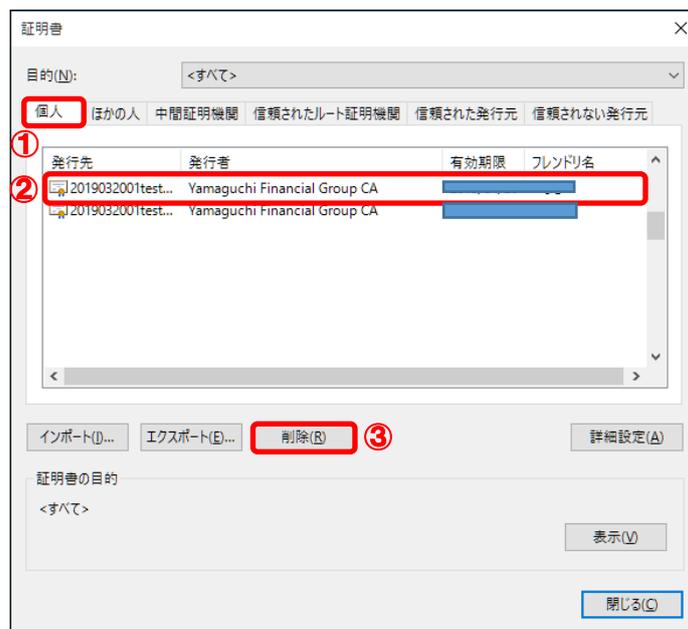


- (4) インターネットオプションが表示されましたら、① **コンテンツ** タブより、
② **証明書 (C)** ボタンをクリックしてください。

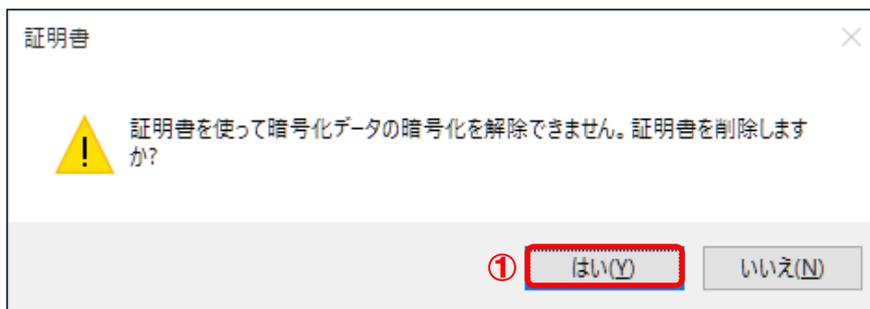


- (5) ① **個人** タブより、② **古い証明書** を選択し、③ **削除 (R)** ボタンをクリックしてください。

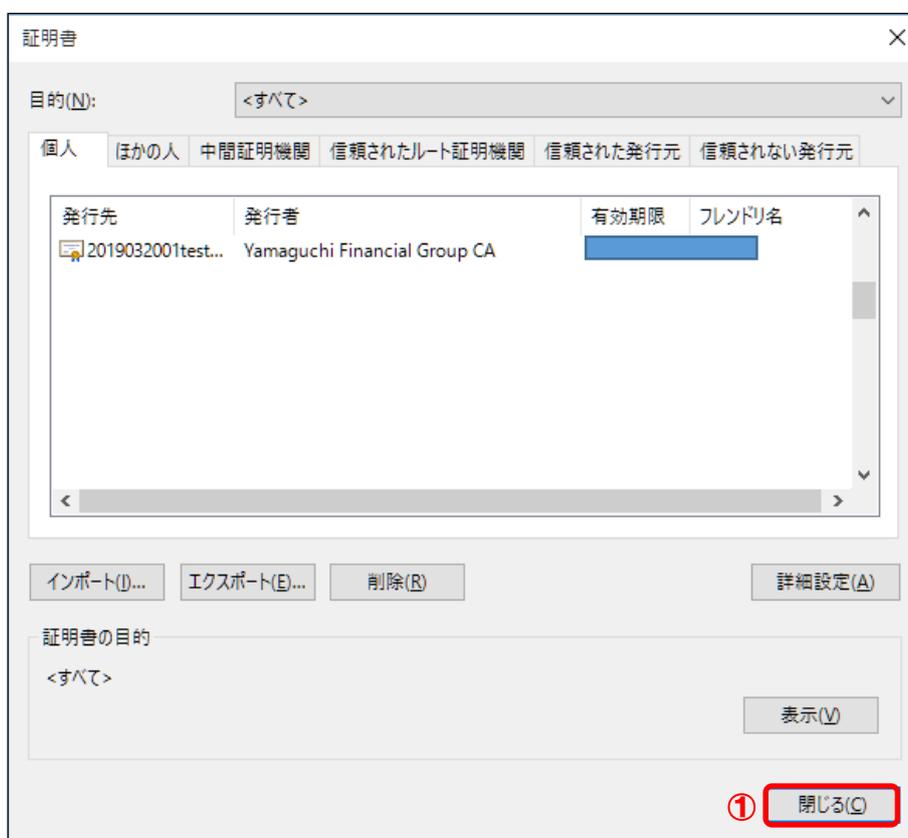
※更新前と後の2つの証明書が表示されます。有効期限の短いものが古い証明書になります。



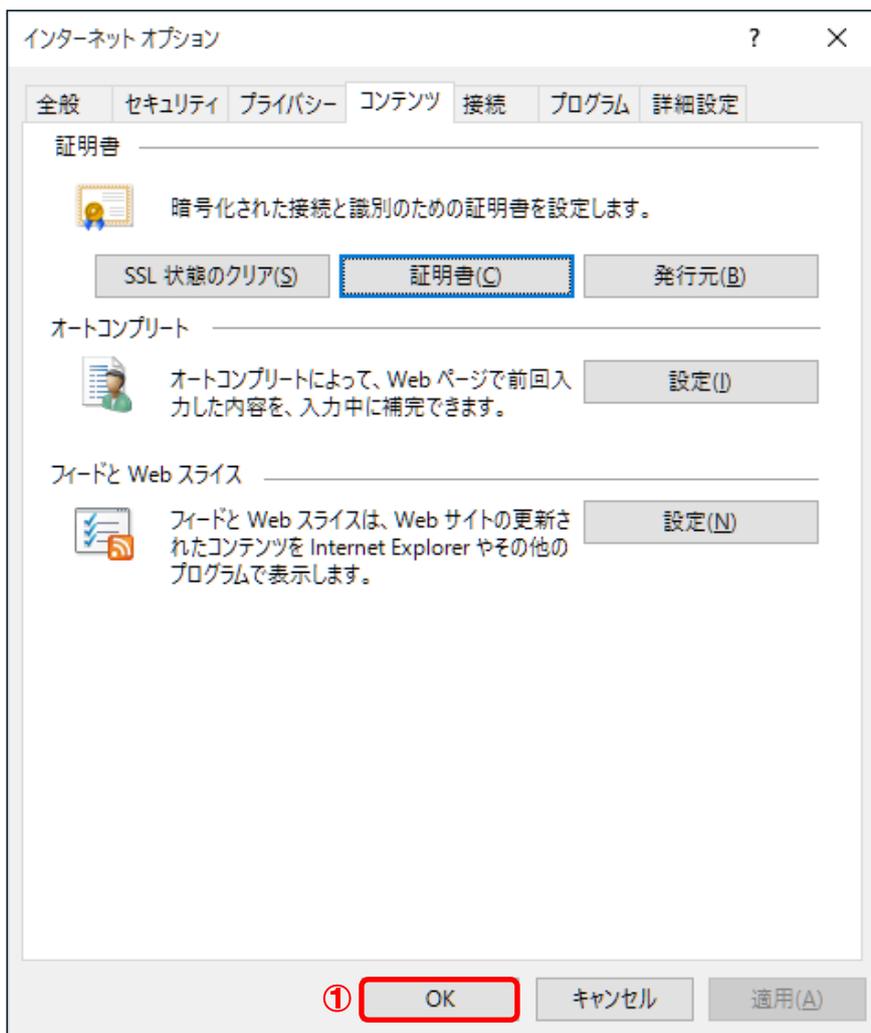
(6) ① **はい(Y)** ボタンをクリックしてください。



(7) ① **閉じる(C)** ボタンをクリックしてください。



(8) ①OK ボタンをクリックしてください。



以上で証明書を削除することができました。

3. トラブルシューティング

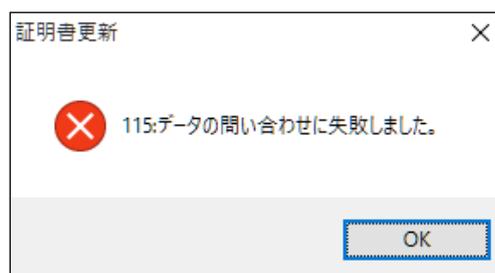
本章では、証明書インポートツールの実行中にエラーが発生した場合に、どのような対処を行えばよいかご説明します。

エラーの一覧は次のとおりです。

1. 『115：データの間合せに失敗しました。』
2. 『125：データの間合せに失敗しました。』
3. 『550：証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』
4. 『550：証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしくは既に証明書を取得済みです。』
5. 『205：証明書をインポートできませんでした。』
6. 『確認ページ』が表示されない

3.1. 『115：データの間合せに失敗しました。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、証明書を取得するためのインターネット接続に失敗したときに発生します。

証明書インポートツールは、次の URL に自動アクセスして証明書等を取得するため、下記接続先へのアクセス制限を行っているため、上記エラーが発生します。

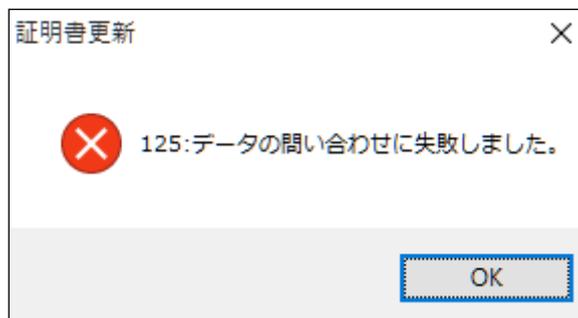
項番	接続先	IP アドレス	プロトコル
1	webra1.secomtrust.net	165.100.2.114	HTTPS
2	repo1.secomtrust.net	61.114.186.157	HTTP
3	repository.secomtrust.net	61.114.177.151	HTTP

◆ 対処

上記原因に記載された通信が正常に行えるように、ネットワークの設定を変更してください。

3.2. 『125:データの問合せに失敗しました。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、更新対象の証明書証明書が次のように正しくない状態の場合に発生します。

- 証明書の選択画面でキャンセルをクリックした場合。
- 証明書の選択画面で選んだ証明書の有効期限が切れている場合。
- 更新対象の証明書がインストールされていない端末のため証明書を選択できない場合。

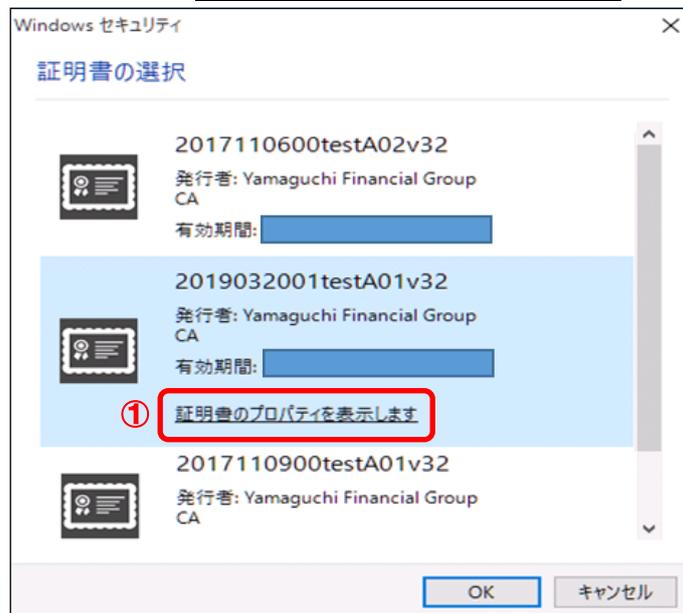
◆ 対処

再度、証明書インポートツールを実行して、選択する証明書の有効期限が切れていないことを確認してください。

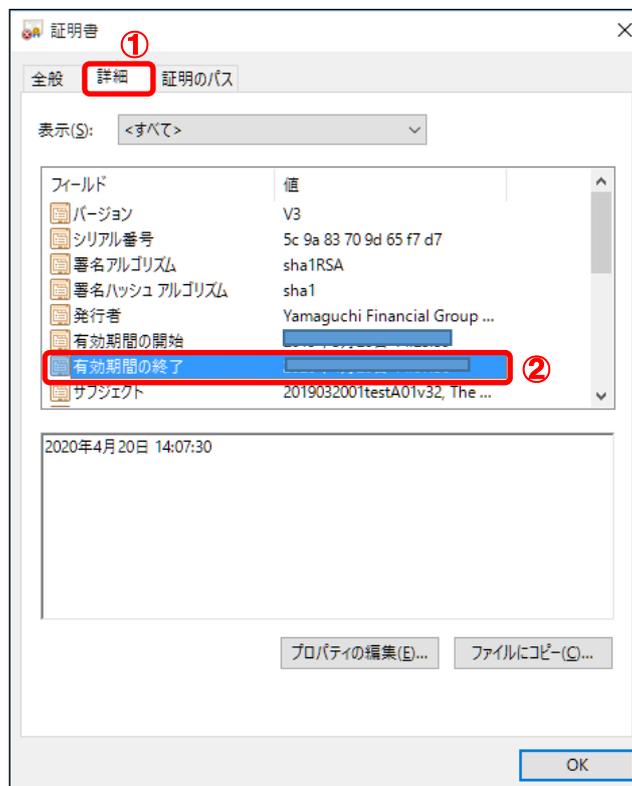
有効期限の切れていない更新対象の証明書を選択できない場合は、証明書の再発行を行ってください。

<証明書の有効期限の確認方法>

- (1) 証明書インポートツールを実行し、証明書の選択画面より、更新対象の証明書を選択し、①**証明書のプロパティを表示します**をクリックしてください。

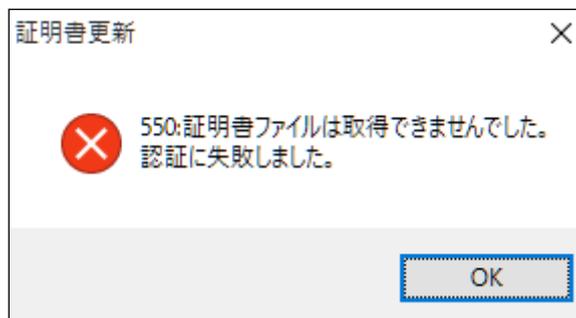


- (2) ①**詳細**タブより、②**有効期間の終了の値**が、現在日時よりも未来の日時であることを確認してください。



3.3. 『550：証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』

◆ エラー画面



◆ 原因

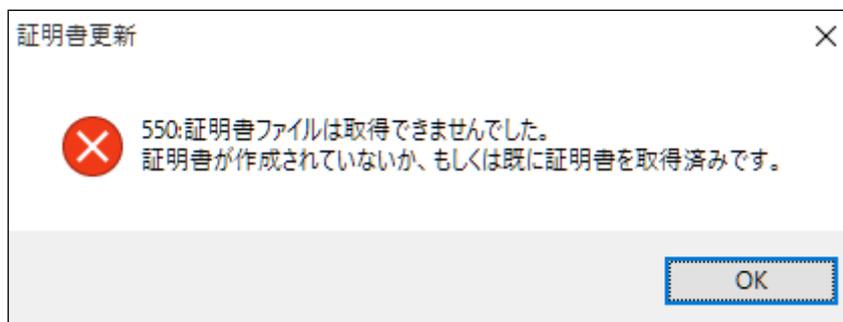
このエラーは、入力情報(パスワード・証明書の選択)を間違えたとき、また、パスワードがロック中のとき、パスワードの有効期限が切れているときに発生します。

◆ 対処

再度、証明書インポートツールを実行して、正しい入力情報を入力してください。
正しい入力情報を入力している場合でも連続してこのエラーが発生する場合は、パスワードがロック中か、パスワードの有効期限が切れている可能性があります。
この場合は、サービス提供元までお問合せください。

3.4. 『550：証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしくは既に証明書を取得済みです。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、既に証明書をインポート済みの状態で、再度、証明書インポートツールを実行したときに発生します。

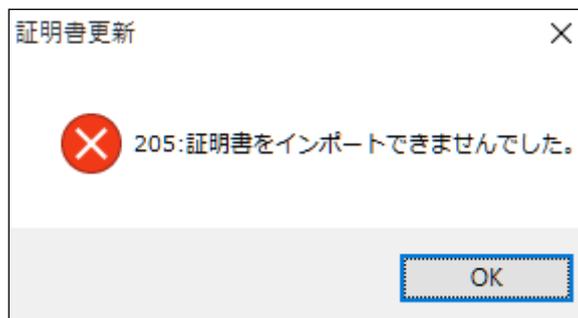
◆ 対処

証明書のインポートが完了していないにもかかわらず上記エラーが発生する場合は、証明書の失効や、再発行申請の処理を行う必要がありますので、サービス提供元へお問合せください。

(証明書のインポートが完了しているか確認する手順は、本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」をご参照ください。)

3.5. 『205：証明書をインポートできませんでした。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、ご利用の端末の証明書格納先にアクセス権限が与えられていないときに発生します。

◆ 対処

証明書を保存するフォルダーのアクセス権限を確認し、正しい権限を与えてください。
詳細の手順は次のとおりです。

- (1) 「C:¥Users¥ {UserName} ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Crypto」フォルダーを開いてください。*
- (2) 「RSA」フォルダーを右クリックして、「プロパティ」を選択してください。
- (3) 「RSA のプロパティ」ダイアログが開きますので、「セキュリティ」タブを選択してください。
- (4) 「 {UserName} のアクセス許可」欄の「フルコントロール」が「許可」になっていることを確認してください。「許可」になっていない場合は「許可」に変更し、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

*アカウント権限の設定により、隠しフォルダーになって見えない場合があります。

3.6. 『確認ページ』が表示されない

◆ エラー内容

本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」を実施して、確認ページにアクセスすると、以下の画面が表示される。



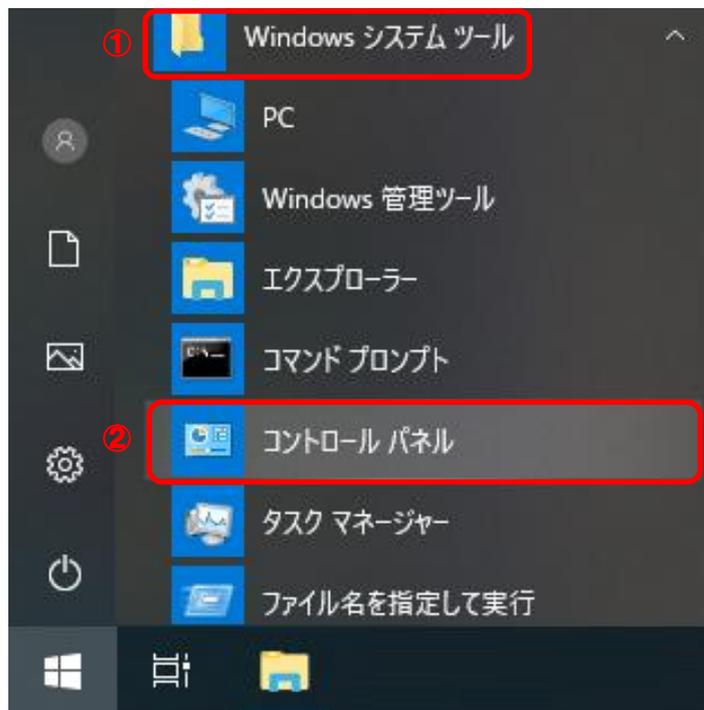
◆ 原因

ブラウザのキャッシュに残ったデータが影響している可能性があります。

◆ 対処

以下の手順で SSL 状態をクリアし、すべてのブラウザを閉じて下さい。
その後、改めて確認ページへのアクセスをお試しください。

(1) ウィンドウズのメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを選択してください。



(2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、

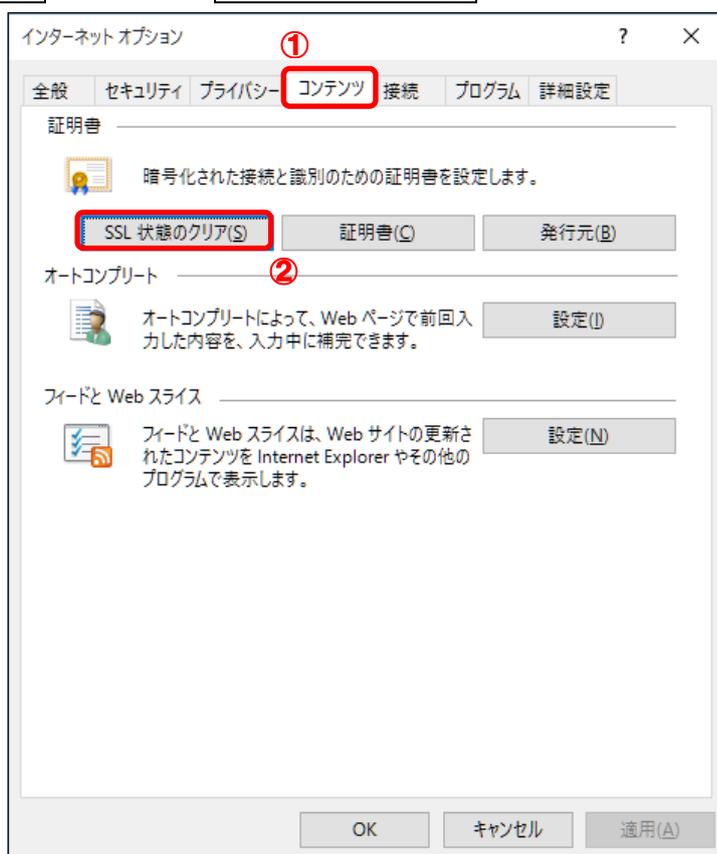
①小さいアイコンもしくは、大きいアイコンを選択してください。



(3) ① **インターネットオプション** を選択してください。



(4) ① **コンテンツ** タブより、② **SSL 状態のクリア (S)** ボタンをクリックしてください。



- (5) すべてのブラウザを閉じる。
- (6) 新しいブラウザを開き、確認ページへアクセスする。

以上